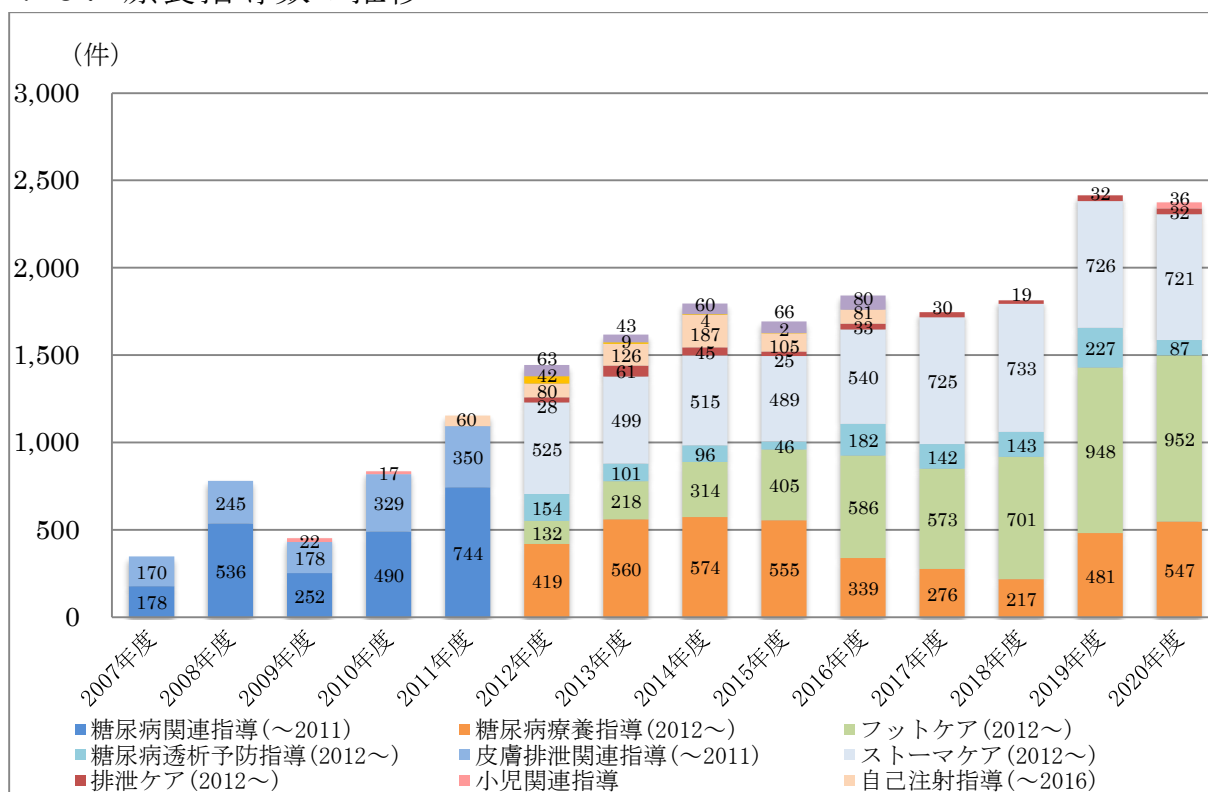


## 7 6 . 療養指導数の推移



公衆衛生看護科で実施する「排泄ケア」、「ストーマケア」、「フットケア」、「糖尿病透析予防指導」、「糖尿病療養指導」、「足のケア外来」の6つの療養指導件数の推移を示した。

経年的に療養指導数が増加しているのは、「フットケア」と「糖尿病療養指導」、減少しているのは「糖尿病透析予防指導」であった。「フットケア」は、2018年4月より外来枠を週2日から週5日に拡大し療養指導数が増加している。また、2020年10月より循環器内科と連携し、閉塞性動脈硬化症などの末梢動脈疾患患者を対象として、「足のケア外来」を新設した。減少した「糖尿病透析予防指導」に対しては、今後、糖尿病認定看護師からの医師・病棟看護師への働きかけを強化していく。

「ストーマケア」や「排尿ケア」は、Covid-19の影響により上半期は療養指導数がやや減少したが、年間を通しては大きな減少は見られていない。

2020年度はCovid-19の影響により、療養指導数の総数は約2%減少した。しかし、足のケア外来の新設など『疾患をもちながら在宅で生活する患者さんやご家族が安心して療養できるよう支援する』ため、今後も、患者さんのニーズにそったより質の高いケアが提供できるよう、働きかけの強化と工夫に努めていく。

データ提供 看護部